

# 平成29年度「低学年の指導力向上フォーラム」(H29.6.8開催)

## 【目的】

各小学校の低学年担当教諭等を対象に、学習や生活の基盤づくりという観点から、小学校低学年の段階における言語能力等の育成に向けたカリキュラム・マネジメント及び授業改善についての講義・研究協議を通して、低学年担当者の指導力向上を図る。

## 【内容】

### 【講演】

「低学年教育に今求められるもの  
～言語能力の確実な育成～」

### 【研究協議】

「小学校低学年において言語能力等を  
育成するにはどのようにすればよいか」

### 【講師】

広島大学大学院教育学研究科  
朝倉 淳 教授

## 【講演の動画】

<https://www.pref.oita.jp/site/movie/posit-388.html>

大分県教育庁チャンネル

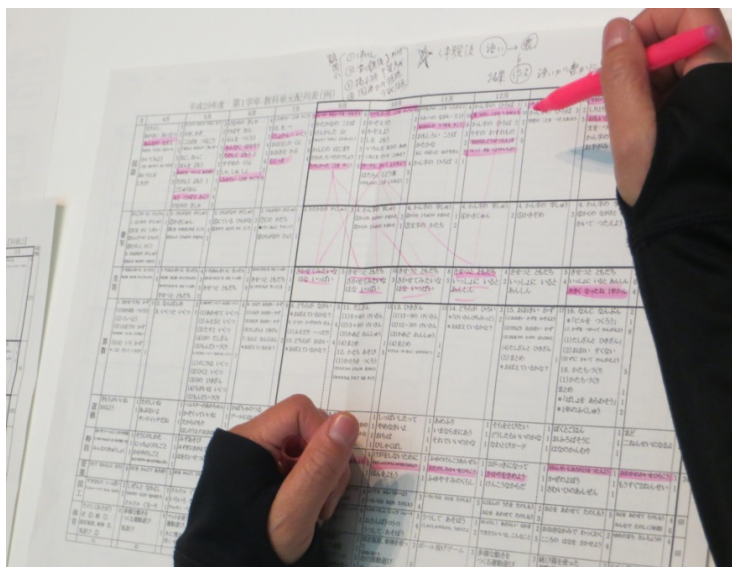
## 【参加者の感想】

### 【講演について】

- 「言葉は体験で育つ」ことがとても心に残った。確かな言語能力の育成のために必要な「体験」「過程の支援」「場面の構成」「言語環境」を意識して実践したい。
- 生活科の中でも、体験を表現することで子どもの深い学びに通じることが実感できた。
- 子どもが体験したことからの言葉は、とても豊かなものであることがわかった。その豊かな言葉から、さらに豊かな言葉を生んだり、行動になっていったりするのだと思った。
- 体験と言葉が結びついていることに注目していなかったため、今回の講演でいかに体験や話すことが大切なのか分かった。また、今しかできない体験、低学年だからこそしてほしい体験を意識的に取り入れていきたいと思った。

### 【研究協議について】

- 生活科と国語科を関連させて単元・カリキュラムを先生方と考えることは、非常に有意義であった。
- 今回の内容を学校に持ち帰り、早速研修していきたいと考えた。
- 実際にやってみたいと思うことばかりだった。
- 「つなぐ」というキーワードでのカリキュラム・デザインの意識が高まった。
- 単元配列表を俯瞰して教科を横断的に捉え、指導者がつながりを意識していくのが分かりやすいと思った。
- カリキュラム・マネジメントは初めての体験だった。今後必要なことになっていくと思うので、今日体験できてよかった。



言葉と体験、各教科等をつなぐワークショップ(単元配列表の作成)